

日本物理教育学会ニューズレター 2012年2月号

●2012年度日本物理教育学会 物理教育研究大会について

2012年度の日本物理教育学会物理教育研究大会は、8月11(土), 12(日)に、北海道大学理学部にて開催する予定です。なお、評議員会は8月10日(金)を予定しています。詳しいアナウンスは、別途、学会誌、または学会HP、このレターでお伝えいたします。皆様、是非ご参加ください。

●日本物理学会年次大会の領域13のプログラムについて

第67回日本物理学会年次大会(日本物理教育学会は共催、関西学院大学にて開催)の領域13のプログラムは下記アドレス内にあります。皆様、是非ご参加ください。

年次大会概要 <http://www.jps.or.jp/activities/meetings/>

プログラム検索 <http://w4.gakkai-web.net/jps/2012sp/index.html>

●第59回応用物理学関係連合講演会について

応用物理学会が主催する第59回応用物理学関係連合講演会(日本物理教育学会は共催)が3月15日(木)～18日(日)東京・早稲田大学他で開催されます。皆様、是非ご参加ください。

講演会概要：<http://www.jsap.or.jp/activities/annualmeetings/index.html>

<https://www.gakkai-web.net/gakkai/jsap/pro/index.html>

●日本物理学会 物理教育委員会主催「第3回物理教育シンポジウム」のお知らせ

日本物理学会では、2010年より物理教育シンポジウムを開催しています(日本物理教育学会は共催しています)。第1回は、「新時代の物理教育を探る」と題して、米国および日本国内での物理教育改革の例、物理教育のコース設計と質の保証など、21世紀の物理教育のあり方全般について講演していただきました。第2回は、「高校の物理、大学の物理」と題して、高校と大学の間の接続を意識しながら、物理カリキュラムの全体像を俯瞰する講演をしていただいています。

来る第3回では、大学の理数系教育と社会との接続をテーマに、複数の講演と総合討論を企画しています。昨年の大震災をきっかけに、理数系とりわけ物理教育の重要性は、産業界で役立つ人材の輩出としてだけでなく、すべての国民の素養としても、今まで以上に高まっているといえるでしょう。このシンポジウムでは、理数系学生を送り出す側からの視点ではなく、受け入れる側の視点から、理数系教育のあるべき姿を再認識したいと考えています。

詳細や事前申し込みは、日本物理学会HPや日本物理教育学会HPに掲載される予定です。

第3回 物理教育シンポジウム

「大学の理数系教育と社会との接続

キャリアパスと科学リテラシー

理数系学生を受け入れる社会の側の視点から」

【主催】 日本物理学会 物理教育委員会
(共催：日本物理教育学会)

【日時】 2012年4月1日(日) 13:00～16:30

【場所】 東京大学 小柴ホール (東京都文京区本郷 7-3-1)

【講師】 内田 史彦 氏 (株)日立製作所研究開発本部 CIO
田代 直幸 氏 文部科学省 国立教育政策研究所
横山 広美 氏 東京大学大学院 理学系研究科

●中国四国支部交流会「井戸端ポテンシャルの会@岡山」のお知らせ

次の要領で本会中国四国支部が交流会「井戸端ポテンシャルの会」を開催します。主な内容は、PICを利用した興味深い実験教材について、高等学校教員の会員の方々による実践事例の紹介や工作実習を行います。大学の物理学学生実験にも活用できる教材紹介や実技工作が満載の予定です。ぜひお集りください。

また、この会の後に午後7時頃から岡山駅周辺で懇親会も開催予定です。物理学会が27日まで開催されますが、そのお帰りの際に、ちょっと寄り道してみませんか？

交流会名	井戸端ポテンシャルの会@岡山
期 日	3月27日(火) 16:00~18:00
内 容	前半1時間：実験紹介(PICの実験いろいろ), 後半1時間：工作実習など作業的なこと
場 所	岡山大学教育学部本館219実験室(物理生物共同実験室) (岡山市北区津島中3-1-1)
お問い合わせ・参加申し込み先	岡山大学大学院教育学研究科 稲田佳彦 y-inada@cc.okayama-u.ac.jp, @は@に直してください

●北海道支部実験講習会が開催されました

北海道支部主催の「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会」が1月10日(火)、札幌北高等学校を会場に開催されました。参加者24名、スタッフ12名での開催となりました。一班4名、40分ローテーションで実施しましたので、休憩時間ありませんでした。そのため参加者からは、「日程が窮屈である」という意見も寄せられましたが、実験内容については、たいへん好評でした。

実験は以下の6テーマです。

- (1)回折格子(赤と青のセロハンを巻いた蛍光灯の波長測定)
- (2)弦の定常波(打点式記録タイマーを振動源として利用)
- (3)水面波の実験(水面波の実験装置を使った演示の工夫)
- (4)力学的エネルギー保存則(金属球の水平投射を使って)
- (5)静電気(箔検電器の基本操作, 光電効果)
- (6)重力加速度の測定(記録タイマー, 記録テープの解析の基本)

参加者からの何気ない経験談や失敗談, ちょっとした工夫, 誰にも聞けなかった疑問などの情報交換は, 参加者だけでなく講師にとっても, たいへん有意義なものでした。「電磁気関連のテーマも欲しかった」という声もありましたので, 今後も継続した取り組みとなるように準備をしていく予定です。



写真 回折格子の実験

●近畿支部研鑽会が開催されました

近畿支部の研鑽会「地震科学の最先端をみる—東北地方太平洋沖震はいかにして生じたか—」が, 1月28日(土)に, 大学, 高校の関係者が19名参加し, 京都大学防災研究所防災予知研究センター附属阿武山観測所において行われました。京都大学防災研究所の飯尾能人氏と矢守克也氏の講演と, 阿武山観測所の見学が行われました。

飯尾氏から「阿武山観測所と地震学の歴史について」と題して講演していただいた後, 阿武山観測所と, 過去に使用していた測定器や現在使用している測定器について見学



写真 飯尾氏の講演

しました。その後、飯尾氏から「東北地方太平洋沖震と地震予知の科学について」、矢守氏から「満点計画と連動した防災教育・アウトリーチ研究」と題して講演していただきました。活発に質疑が行われ、大変有意義な会となりました。

●中国四国支部にて第 16 回物理教育研究会「明日から使える理科教材ワークショップ」が開催されました

2012年2月18日(土)に広島県物理教育研究推進会主催で第16回物理教育研究会「明日から使える理科教材ワークショップ」が開催され、本会中国四国支部が後援しました。

一般11件、企業5件の計16件が展示してのワークショップでは、今回は特に放射線に関する教材のコーナーが設けられました。また、その後のフォーラムでは、「放射線の基礎知識とその伝え方」について原子核・素粒子物理学の専門家と中学校理科教員から情報提供の後、熱心に意見交換が行われました。小学校から大学までの教員、および理科教育関係者など、80名以上が参加し、盛会でした。



写真 ワークショップの様子1



写真 ワークショップの様子2

*次号は3月末日に発行予定です。ニューズレターで、広報したい本部・支部行事、共催行事などありましたら、3月15日までに学会事務局へメール (henkou-phyedc29@trad.ocn.ne.jp, @は@に直してください)にてご連絡ください。ただし、掲載の適否については編集委員会で審議させていただきます。

編集後記

春は学会が共催する研究大会やシンポジウムなどがいくつかあります。参加することで、色々刺激を受けることは間違いないと思います。皆様、是非ご参加ください。(長谷川)

発行：日本物理教育学会会長 高橋 憲明 編集：日本物理教育学会ニューズレター編集委員会 発行日：2012年2月29日
